

# 請 願 書

令和 8 年 6 月 4 日

国東市議会議長 森 正二 殿

## 生活用水の安定確保について(お願い)

当山浦区橋上集落は、山間僻地にあり急激に過疎・高齢化が進み年々集落の維持機能が厳しくなっています。

近年の干ばつ等異常気象あるいは地震の影響による地殻変動なのかはつきりしませんが、集落内の水道利用組合において生活の基盤であるボーリング揚水並びに井戸水の枯渇状態が昨年から続いており、大変不自由な生活を余儀なくされています。

日々の飲料水の安定確保は、日常生活のために必要不可欠なものであり、それが脅かされている状況にあります。

先般、国東市（環境衛生課）に相談（R8.4.30）したところ現行補助制度では、ボーリング掘削に対する補助要件として受益戸数5戸以上で、標準事業費300万円の1/2補助金で補助上限額150万円の打ち切りと聞きました。

山間部と平坦部ではボーリングの掘削の深さに違いがあり、当集落は、標高300Mと高い地域に位置する為、200M程度掘削しなければ水源の確保は難しい状況です。近年、ボーリング掘削事業単価が高騰する中で、一律に基準事業費を決めることは補助率に不公平が生じることとなります。

又、集落戸数が減少し高齢独居世帯や空き家が増える集落において戸数要件を満たすことは、大変厳しい状況にあります。

つきましては、次のとおりお願いします。

1. 戸数要件について関係人口（＝常時住んではいないが定期的に帰宅し生活する者）を受益者加算する（もしくは、5戸以上を3戸以上へ変更）など戸数要件の緩和措置を講じて頂きたい。
2. 補助上限額を設けず、実勢事業費に応じた補助率の適用を行うこと。
3. 掘削及び揚水設備等に係る総事業費の補助率を現行の1/2から2/3へ引き上げることより受益者負担の軽減措置を行い、ボーリング事業が可能となるようにして頂きたい。

以上、困窮している当集落の現状を考慮して頂き、集落内の人々が、水源の安定確保により安心して生活出来、今後ともこの地域で住み続けられる環境を早期に整えて頂きますよう特段のご配慮をお願い申し上げます。

紹介者 国東市議会議員 松本 光生

国東市議会議員 吉武

(要望者)

山浦 区長 阿部 泰

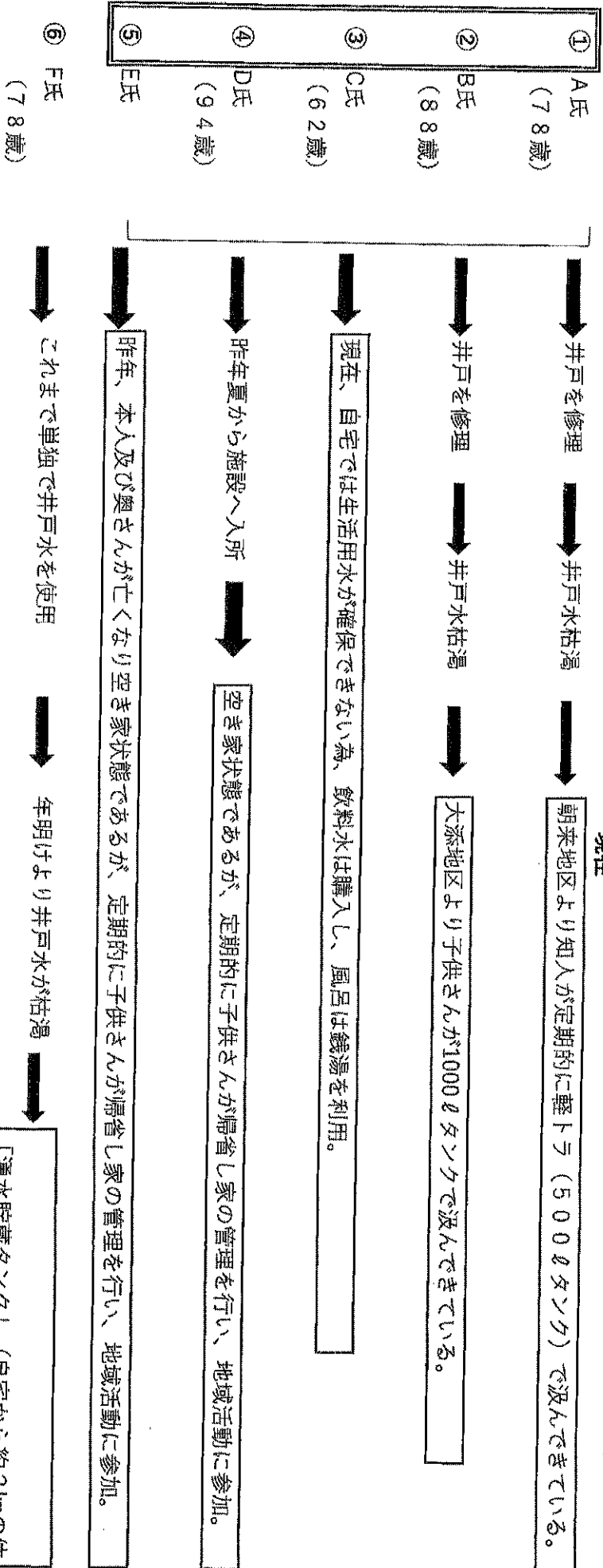
山浦区長代理 河野 博

橋上 組長 河野 常雄

## 西組 水道利用組合 (①～⑤) の現状

● R7年秋既存ポンプ施設故障。業者に修理を依頼したが復旧できません。

現在



「湧水貯蔵タンク」(自宅から約2kmの位置)より1日毎に軽トラ(500ℓタンク)で4～5回汲みに行っている。